

行政政策学類生の歴史資料保全活動

I. 相馬市中村での資料保全と調査・研究

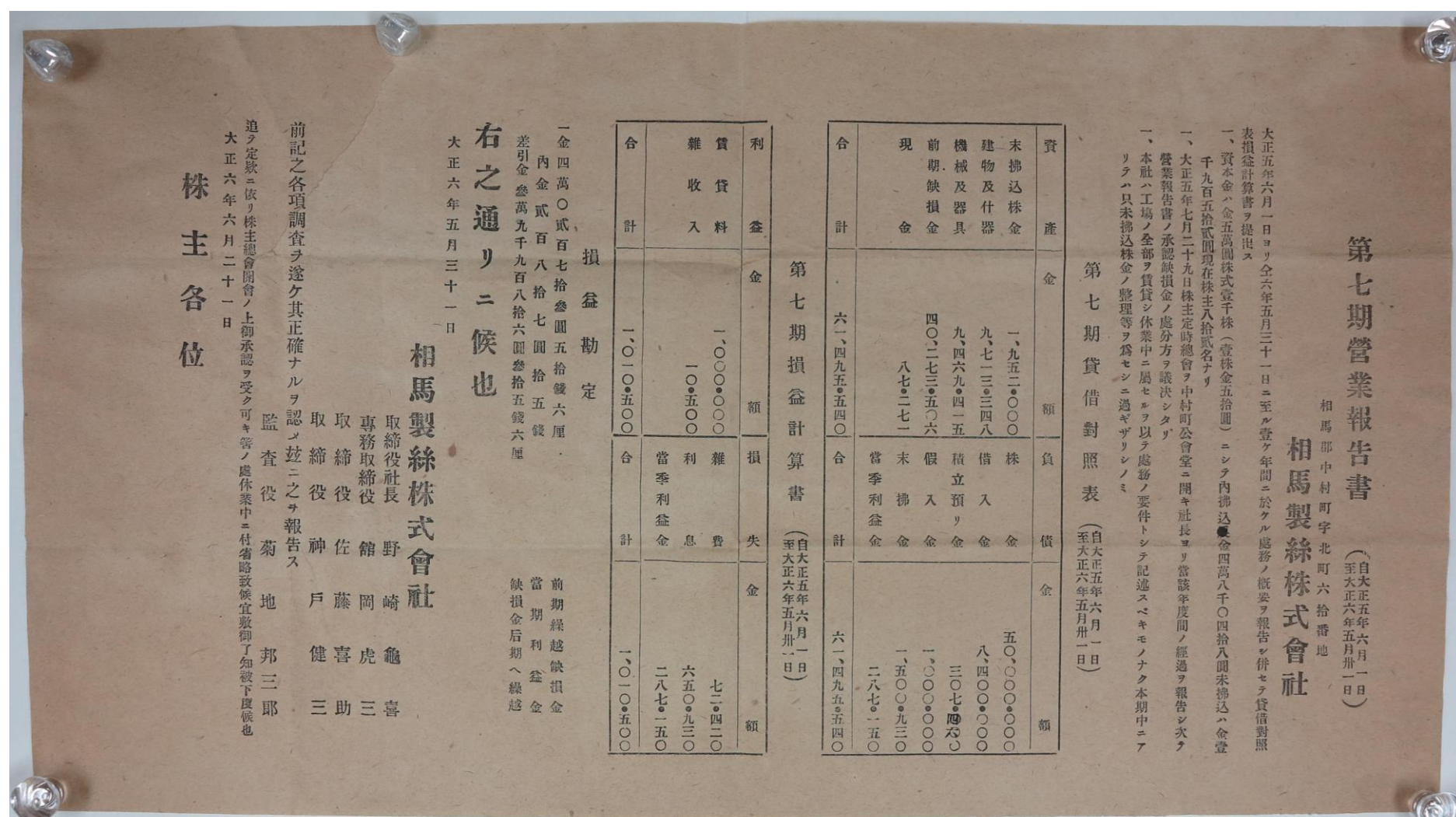
○きっかけ:2022年3月の福島県沖地震(震度6強)

○活動:2022年度 レスキュー活動の支援

2023~2025年度 救出した資料の整理と調査研究、現地発表会

2023年度:野崎亀喜氏の実業家としての実績

明治時代の相馬中村を代表する実業家の一人であった野崎亀喜氏は、相馬藩士の家に生まれ、近江商人を出自とする野崎家に養子に迎えられ、相馬銀行を軸に、相馬製系(のちの鐘紡相馬工場)、朝日製紙など多角的な事業を展開しました。

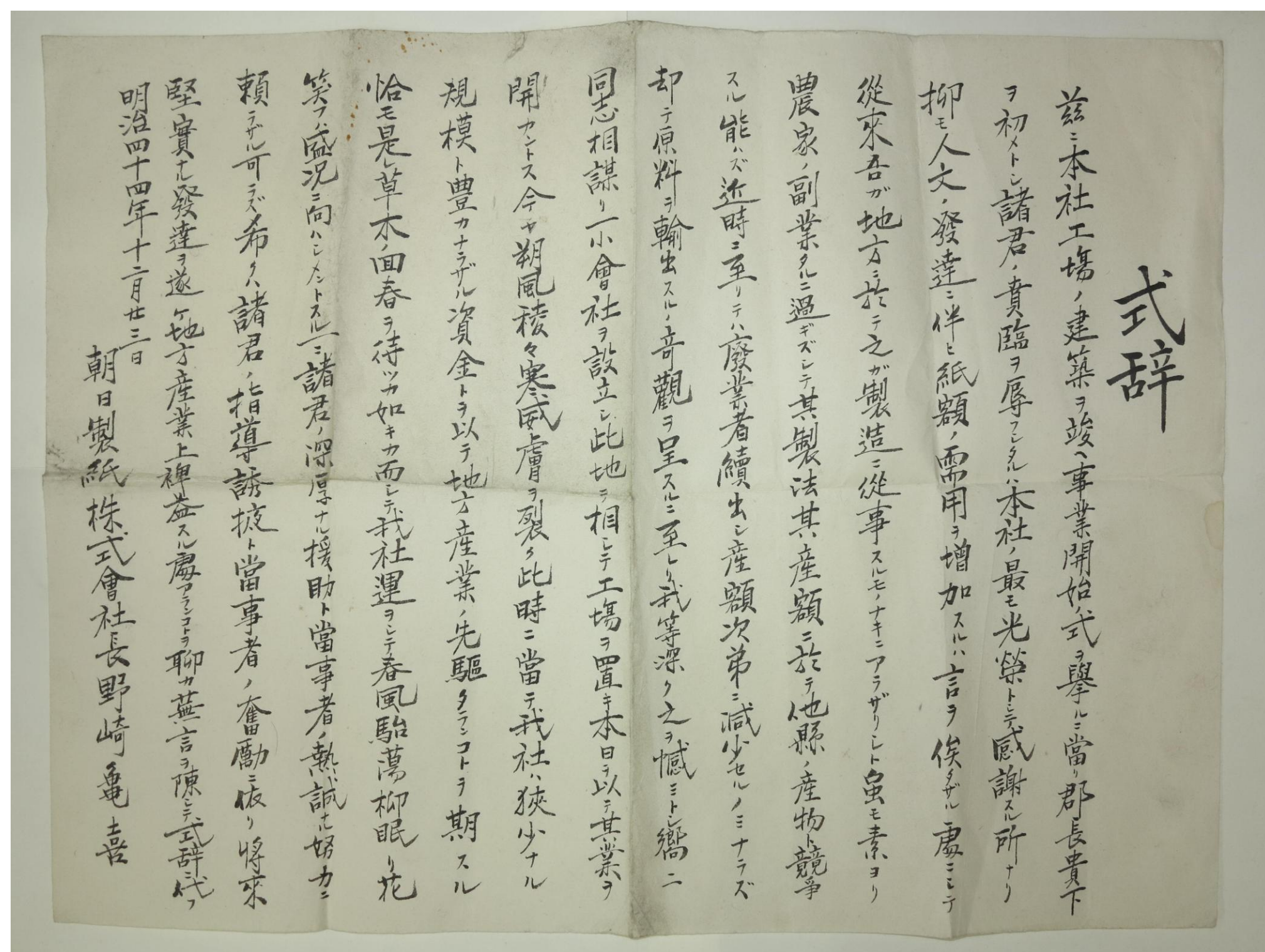


第七期営業報告書 (相馬製紙株式会社)

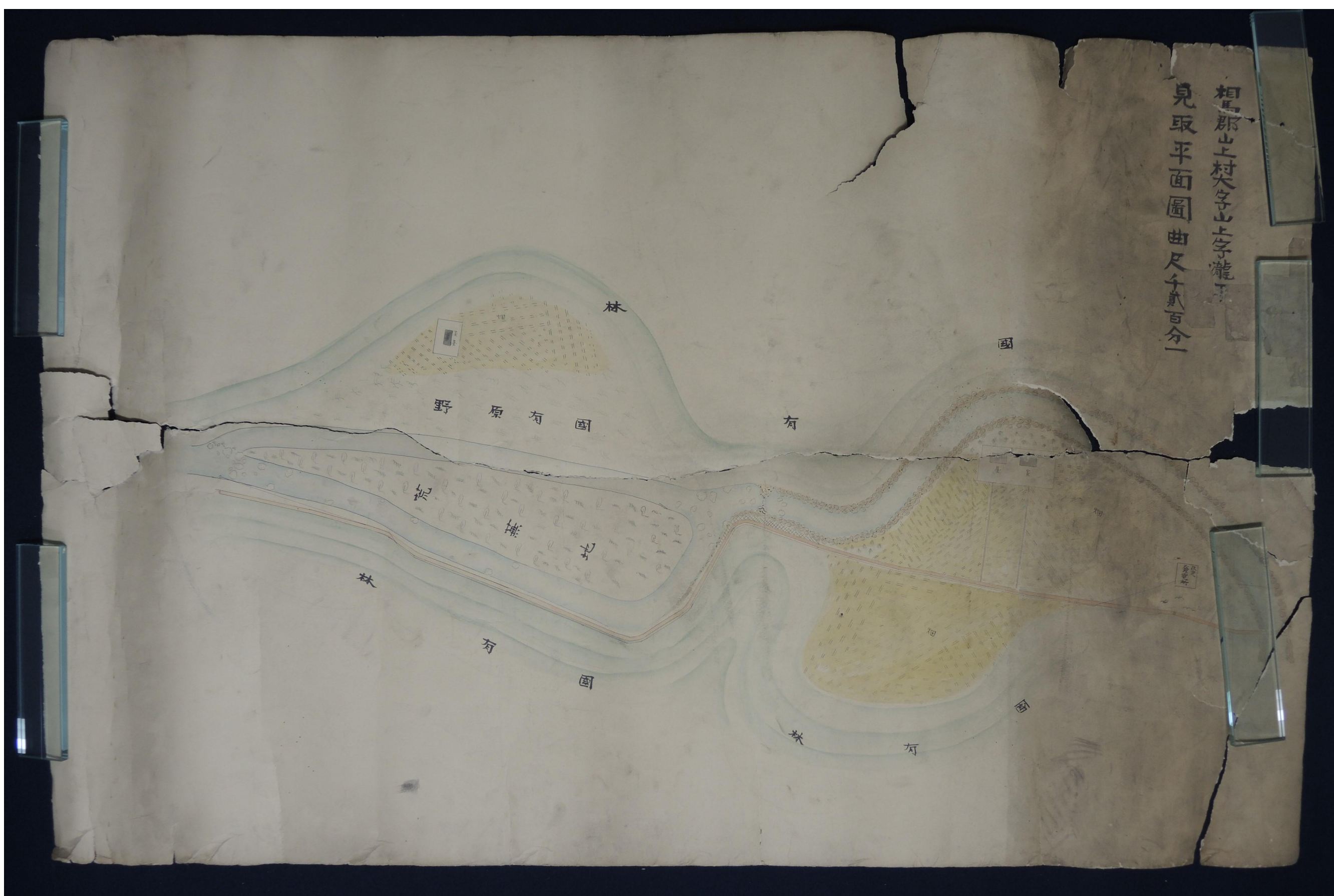
項目	金額	項目	金額
資本金	1,000,000	負債総額	1,000,000
準備金	1,000,000	純資産	1,000,000
総資産	2,000,000	総負債	1,000,000
総純資産	1,000,000	総純負債	1,000,000

株主各位

相馬製系の営業報告書



朝日製紙事業開始にあたっての式辞

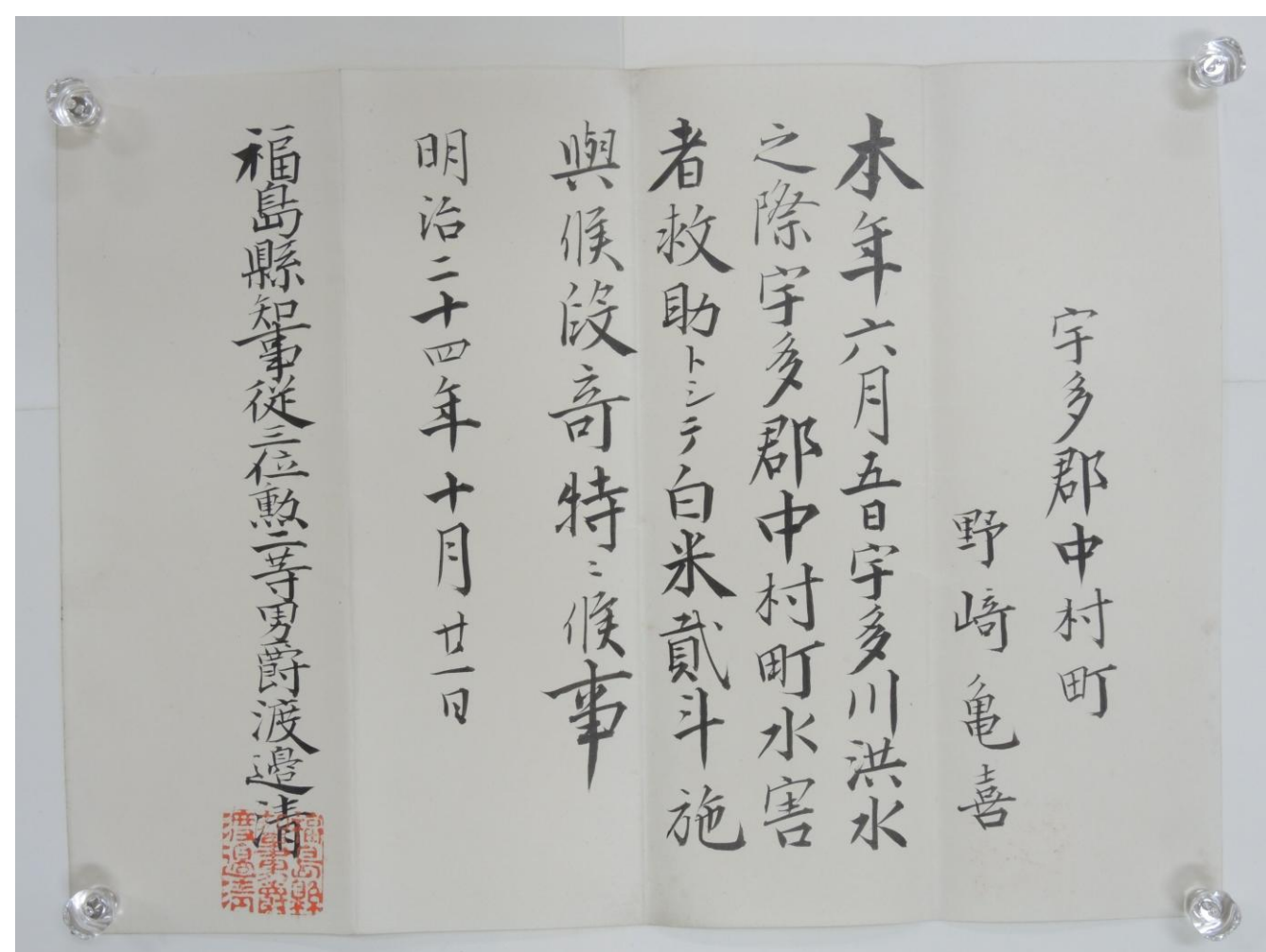


中村電気発電所建設場所の見取図

2024年度:野崎亀喜氏の多彩な活動

亀喜氏の事業の一つである中村電気の見取図をもとに現地調査を実施しました。町会への招集状から議事録をあたり、町会議員としての活動状況を追究しました。そして相馬中村での水害などでは多額の義援金を出す篤志家としての顔も持っていたことが明らかになりました。

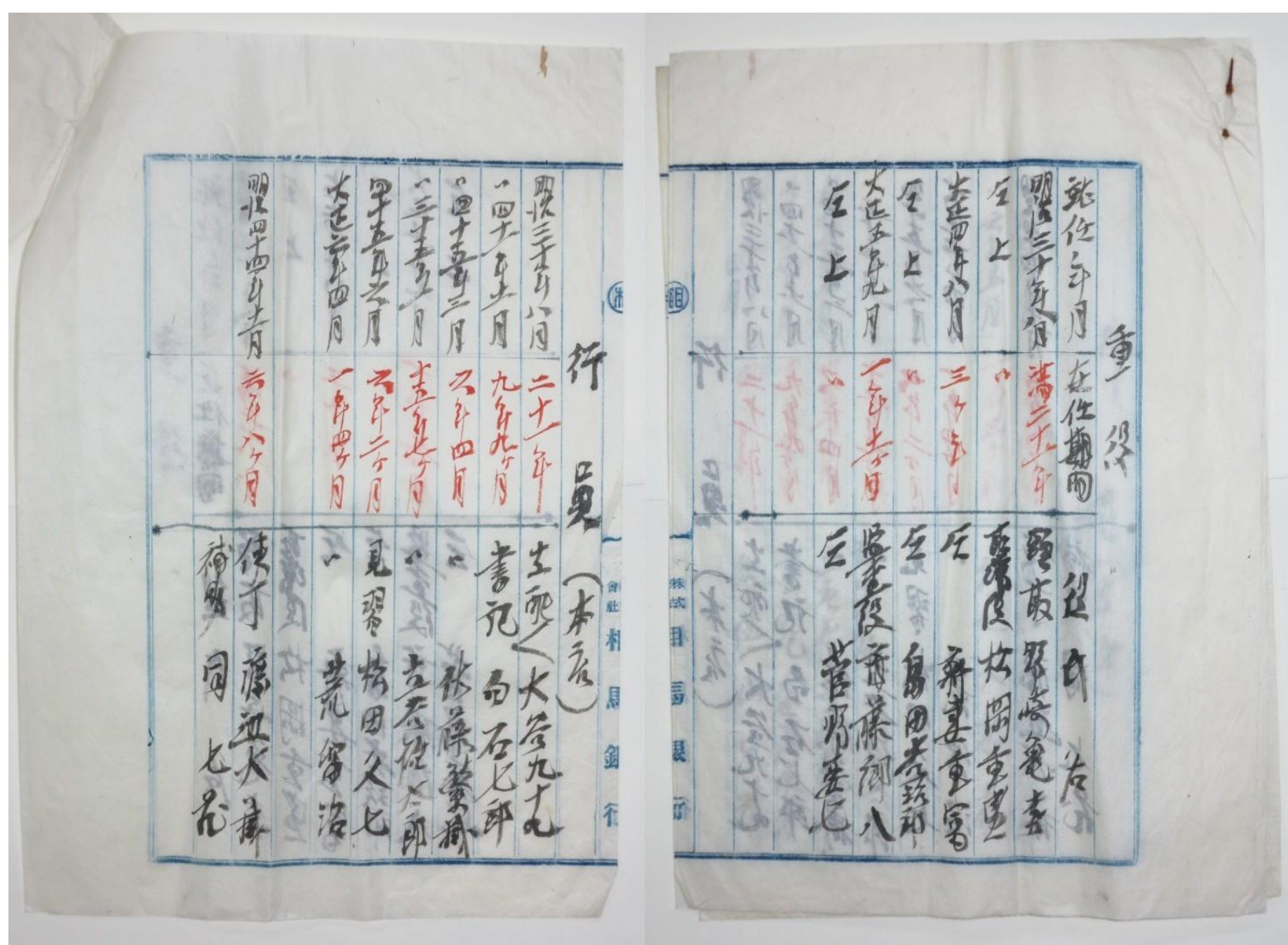
水害避難者への支援
に対する感謝状



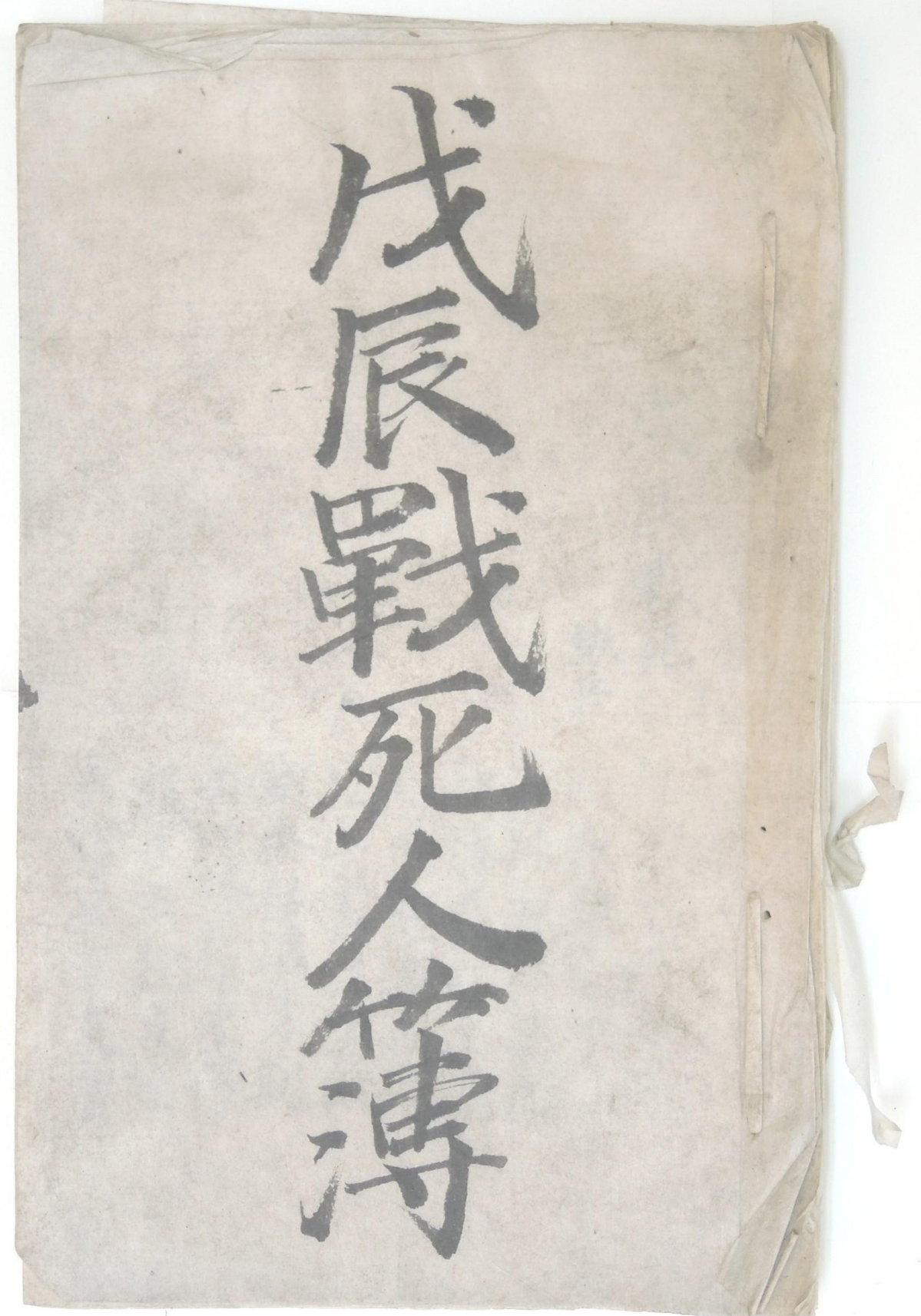
2025年度:野崎亀喜氏と相馬中村

野崎家には戊辰戦争での戦死者記録と、戊辰戦役殉難者五十年祭委員の委嘱状が伝わることから、両者のかかわりを調査しました。相馬銀行の役員名簿から、銀行に集う相馬中村の実業家たちの実像を追究しました。そして地元で最もよく知られた、亀喜氏が県会議員となって第四中学(現在の相馬高校)を誘致したとする説について、当時の新聞報道を軸に、その真偽を検証しました。

相馬銀行の役員名簿(一部)



役員	氏名	職名
代表取締役	野崎亀喜	代表取締役
取締役	野崎亀喜	取締役
取締役	野崎亀喜	取締役
取締役	野崎亀喜	取締役



戊辰戦死人簿(表紙)

行政政策学類生の歴史資料保全活動

2.福島市旧二階堂家（国登録有形文化財）での歴史資料保全活動

○きっかけ:古民家を活かす会からの協力依頼

○活動:2024年度 **古文書の搬出と整理**

襖の下張り文書の保全

2025年度 **大学での古文書の整理**

民具資料などの撮影

旧二階堂家とは？

中世武士の二階堂氏につながるともいわれますが、江戸時代には名主をつとめ、明治時代には養蚕業で財を成し、戦後は信夫村長もつとめました。旧二階堂家住宅は江戸時代に建てられ、福島県内でも最古級のものです。



資料の展示と整理

民具などの収蔵品は、所蔵者の手で資料館として展示されていますが、古文書類などは蔵の中で手付かずであったことから、学生が中心となって搬出したのち、ほこりを掃うクリーニングやデジカメでの撮影を行いました。



古文書の保全と撮影

東日本大震災以降、ふくしま歴史資料保存ネットワークが被災した民間所在の文化財の救出と保全にとりくんでいます。当ネットは行政政策学類が代表・事務局を務めており、その活動では学生たちが大きな役割をはたしています。夏には2日間の集中作業を行い、全国各地から集まった参加者たちと行政政策学類生、卒業生たちが資料整理に取り組みました。襖の下張りの古文書を保全したり、固着して虫食いのひどい古文書をはがして撮影する作業に取り組んだり、普段できない活動に夢中になって楽しく取り組んでいます。

